

日本雪氷学会北海道支部創立 30 周年記念を祝して

日本農業気象学会北海道支部長 堀 口 郁 夫

日本雪氷学会北海道支部が、創立 30 周年を迎えられましたことにたいして、日本農業気象学会北海道支部を代表して、心からお祝いを申し上げます。雪氷に関する事柄について、30 年前の状態と現在の状態を比べると、隔世の感があると思われます。30 年前といえば戦後の混乱期をようやく脱し、これから経済が発展するときにでありました。当時は、雪氷に関する研究も知識も多くなく、冬の通るのをひたすら待ち望んでいた時代であったと思います。このようなとき日本雪氷学会北海道支部が創立され、また我が農業気象学会北海道支部や気象学会北海道支部もほぼ時を同じくして創立しております。このことは、当時自然の物理現象の解明が、社会経済の発展に重要になりつつあった時代であったためと思われます。



北海道は積雪寒冷地にあり、我々は好むと好まざるとにかかわらず、雪や氷に直接、間接に大きな影響を受けています。この中にあって、日本雪氷学会北海道支部は種々の事に活躍され、その成果は日本はもちろん広く世界にも知れわたっています。また最近の日本の経済の発達によって、今後ともますます雪氷に関する研究の重要性が、増すものと思われます。我が農業気象学会も、農業における積雪災害・寒冷害など、雪氷と種々な面において関連をもっています。今後とも両学会がお互いに協力しあい、学問や社会の発展に寄与したいと思っています。日本雪氷学会北海道支部のますますの発展を祈念し、お祝いの言葉に代えさせていただきます。